

第 4 回 多職種連携研修部会報告書

日 時	令和元年 1 1 月 2 0 日 (水) 2 0 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0	
場 所	高松市医師会館 2 階中会議室	
出席者	■ 吉澤委員長 ■ 大原部会長 □ 井下委員 □ 大橋委員 ■ 長内委員 ■ 永岡委員 ■ 中村委員 ■ 林委員 ■ 古川委員	7 名
事務局	高松市社会福祉協議会 大川氏 高松市医師会 山地係長、真鍋氏 長寿福祉課 徳重主幹、久保補佐、山崎師長	6 名
議 題	1 令和元年度 多職種連携研修会の開催について 2 今後のスケジュールについて	
結 果	<p>1 令和元年度 多職種連携研修会の開催について</p> <p>○資料 2 (ちらし案) を参考に、内容を検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブタイトル 住み慣れた町で最期まで医療と介護を受けるために →住み慣れた<u>場所</u>で<u>安心して旅立つ</u>ために に変更。 ・第一部のタイトル 在宅医療と介護に携わる一流の仕事を行う人たち →在宅療養の現場から に変更。 ・申込と受付方法 ①在宅ケア便利なびから専用サイトにアクセス、②QR コードより専用サイトにアクセス、③はがき又は FAX で医師会に申し込む の 3 つの方法を記載する。 全ての締め切りは令和 2 年 2 月 14 日 (金) 当日消印有効とする。 ・全体の構成について 裏面の地図を前面に変更し、FAX の申込時に利用できるよう、氏名や連絡先を記載する欄を作成する。 ○後援については、記載の在宅医療介護連携推進会議の委員構成団体に依頼する。 ○レクチャーの内容について <ul style="list-style-type: none"> ・療養者の支援には、多職種による連携が重要であることを説明。 ・医療面は長内委員、介護・福祉面は大川氏が担当し、劇の流れに沿って、出てくる職業について、二人で掛け合いをしながら話を進めていく。 ・まとめ：相談窓口として、在宅医療支援センターや地域包括支援センターの紹介。 ・話を補足するためのリーフレットを作成し、より理解が深まるようにする。 <p>2 今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ちらしについては、ご意見をもとに修正し、12 月中旬をめどに確定する。 12 月下旬に業者に印刷を依頼する (1 万部)。 1 月 10 日の市長定例記者会見後に関係機関に送付予定。 ○次回の部会は、1 月 29 日 (水) 在宅医療介護連携推進会議終了後。 第一部の内容について、社協大川氏にも出席いただき、検討予定。 	

